

【事業分野: 公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水】 【対象施設: 処理場・ポンプ場・MP・管路】

バンドリング 広域化

検討のポイント

○公共下水道事業だけでなく他事業とのバンドリングも対象に、事業効率化に資するスキームを幅広く検討

事業・施設の概要

【下水道事業の概要】

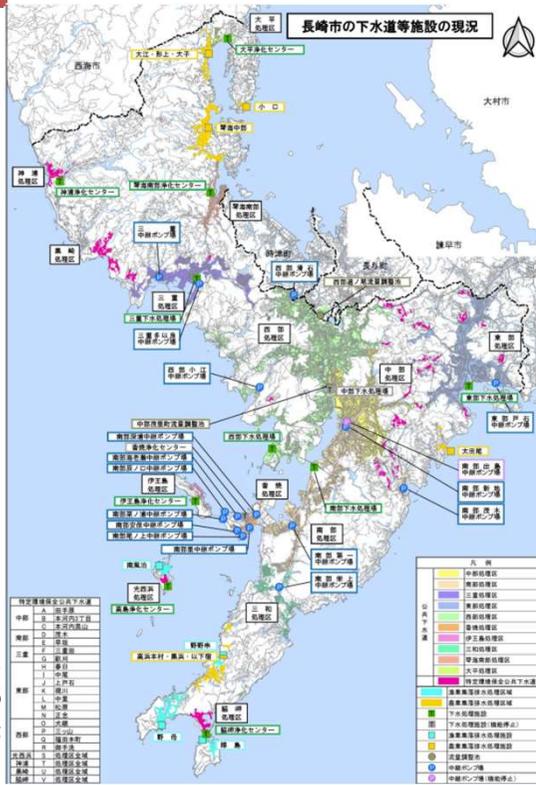
- ・行政区域内人口*1 393,052人
 - ・全体計画人口 304,560人
 - ・処理区域内人口*1 371,559人
 - ・全体計画(汚水) 約 6,912ha
 - ・全体計画(雨水) 約 6,229ha
 - ・事業計画(汚水) 約 6,902ha
 - ・事業計画(雨水) 約 1,225ha
- *1: 令和6年3月時点

【施設の概要】

- ・処理場: 10箇所(8箇所)
 - ・ポンプ場: 18箇所
 - ・マンホールポンプ: 175箇所 (121箇所)
 - ・管路延長: 1,853km(119km)
- *令和6年3月時点
※()は集落排水

【民間委託の状況】

- ・下水処理場の維持管理は、市内を4つのエリアに分割し、平成22年度から包括的民間委託レベル2.5を導入している。地元企業が受託し、現在は、4期目である。
- ・管路は、市内全域を単年度の仕様発注で維持管理している。



出典: 長崎市上下水道事業マスタープラン2025 (素案)

図: 計画処理区

事業スキームの検討

検討① 検討② 検討③ 検討④

- ・下水道事業における現状と課題を把握・分析し、WP3導入による対応案を整理。

本市の下水道事業が抱える主な課題

- ✓ 下水道施設の老朽化に伴い、計画的な更新が必要。
- ✓ 今後の流入水量の減少を見据え、処理水量に応じた規模の適正化や処理方法の見直しを進める必要。
- ✓ 省エネルギー、創エネルギーを視野に入れた設備の更新等を行っていく必要。
- ✓ 今後、多くの職員の退職が見込まれる中で、将来にわたって持続可能な組織基盤の維持が必要。

WP3導入による期待効果

- ◆ 維持管理・更新計画案の作成・更新工事を一体的に行うことで一体事業による効率化や事業費の低減。
- ◆ 性能発注による維持管理・運転管理や下水道施設の更新の高度化・効率化。
- ◆ 民間事業者の創意工夫・ノウハウを生かした維持管理費の低減や脱炭素化の取組を推進。
- ◆ 職員の体制補完及び、技術継承の取組を推進。

公共下水道事業を必ず含めることとし、業務範囲の拡大、バンドリングの可能性を幅広く検討

【WP3の導入範囲(素案)】

- ・公共下水道事業(①②③)を対象に、施設と管路の一体管理を想定する。
- ・効率的な事業運営に資するかをもとに、公共下水道事業に合わせ他事業とのバンドリング(④⑤⑥)の組み合わせを検討

業務の目的・検討フロー

(1) 目的

- ・下水道分野のウォーターPPP(以下WP3)等について、多様なPPP/PFIの案件形成に向けて、モデル都市のWP3導入検討に向けた準備を支援し、その成果を全国に横展開する。

(2) 検討フロー

- 検討①: 事業スキームの検討
- 検討②: 民間事業者等への意向調査
- 検討③: 効果分析
- 検討④: 今後の進め方の検討・整理

公共下水道	対象エリア	①市内全域を対象		②複数処理区を対象		③一つの処理区を対象	
	対象範囲	施設	管路	施設	管路	施設	管路
他事業	業務範囲	維持管理	計画更新	維持管理	計画更新	維持管理	計画更新
		修繕	案作成	修繕	案作成	修繕	案作成
		④農集・漁集		⑤水道(浄水場)		⑥CNの取組	

■ : WP3の対象範囲 □ : 公共下水道に合わせ実施する項目

